

# 一般会計決算4日間集中審査

9月議会

8/30~9/30



令和3年度一般会計決算認定は、全議員が参加 議長と議会選出監査委員を除く)の予算決算常任委員会、9月20日から26日までの4日間にわたって集中審査が行われました。日本共産党の山岡光広・岡田重美・西山実議員は、評価すべき点、問題点を指摘し、令和4年度の予算執行、令和5年度の予算に活かすよう積極的に発言しました。令和4年度一般会計補正予算については賛成、令和3年度一般会計歳入歳出決算の認定については、岡田議員が反対討論を行い、議員団として認定に反対しました。

## コロナから市民のいのち・暮らしを守る決算となっているか 山岡・岡田・西山議員が問題点を積極的に指摘

予算決算常任委員会は、初日に総括質疑とコロナ対策についての審査を、2日目からは各部署ごとの審査を行いました。最終日の26日には、再度、総括質疑を行ったのち、討論・採決となり、岡田重美議員が反対討論を、凛風会の橋本恒典議員が賛成討論を行いました。

令和3年度の決算審査にあたっては、コロナ感染が更に拡大し、市民の生活に大きな影響をおよぼしたことから、市民や事業者の実態に寄り添い、コロナから市民のいのちと暮らしを守る中身の決算になっているかという視点で審査にあたりました。コロナ対策では、感染拡大を防ぐための検査や、自宅療養者への支援などについて問題点や課題を指摘、各部署の審査についても、税金が正しく使われているかチェックし、積極的に発言しました。

### 【岡田重美議員の反対討論骨子】

決算規模は歳入歳出ともに過去3番目。しかしコロナ対策を除けば歳出は過去5番、歳入は過去2番目。

コロナ対策では、ワクチン接種と同時にPCR検査の実施を繰り返し求めたが、「県が進めるもの」とし実施されなかった。感染拡大を防ぎ市民のいのちを守るには、感染リスクの高い施設でのPCR検査を実施すべき。陽性者の約9割が自宅療養となったが、医療や食料支援等必要な支援が届いていない。県との情報共有を行い、市独自の施策が必要。

歳出では市民の福祉向上、子育てNO1を目指す視点から見ると、学校給食の負担軽減・無償化、高齢者の補聴器補助などの願いに応えた決算とは言えない。業務委託があまりにも多い。自治振興交付金の監査強化は必要。コミバスや住宅リフォームは更なる充実が求められる。

歳入では、個人市民税が減少している。市民のふとこをあたためる施策が必要。

市職員の残業やメンタル不調者も増えている。適正な人員配置や健康管理を行うべき。



市内一円で「国葬」反対の宣伝行動=9月23日

## 「国葬」の強行 許さない

国民の6割が反対を占めるなか、9月27日、安倍元首相の「国葬」が強行されました。「国葬」は、「法の下での平等」を規定する憲法14条、「思想・良心の自由」を保障する憲法19条に明らかに反するものです。安倍氏だけを特別扱いし、全額国民の税金で「国葬」を行うなど許されるものではありません。

## 中学卒業までの医療費 10月から完全無料化に

甲賀市では、令和4年10月より、こどもの医療費（子育て応援医療費助成）中学卒業までの完全無料化が実施されます。これまで設けられていた所得制限がなくなり、通院も入院も中学卒業まで自己負担なしとなります。

中学卒業までの医療費完全無料化は、日本共産党甲賀市議員団が、これまで繰り返し議会でも求めてきたものです。子育て世帯の医療費の負担軽減をはかるため、昨年の市議会議員選挙での公約にも掲げていました。

コロナ禍のもと、大変助かる」と早速喜びの声が聞かれています。

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2022年 10月 2日 第420号



山岡 光広  
甲南町森尻 16  
Tel 86-2985  
Fax 86-0415



岡田 重美  
土山町南土山甲 78-15  
Tel 66-0696  
Fax 66-0696



西山 実  
水口町本丸 3-28  
Tel 62-3044  
Fax 62-3044